

科目名	政治・経済			担当教員	細谷 守,直 義和		
学年	3年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	08G03_20030	単位区別	履修単位
学習目標	1. 国のあり方を探求し, 平和と繁栄に貢献しうる人格を陶冶する。 2. 現代における政治・経済・社会の基本的な知識を習得する。 3. 現代社会の諸課題を公正に判断し, 主体的に取り組む能力と態度を身につける。						
進め方	教科書を中心に各学習項目ごとに基本事項を説明・板書し, プリント配布等を通じて理解させる。また, 各学習項目ごとに班別編成をして関心ある事項を決定させ, 班員が協力し合い調査し, その項目をプリント等にまとめ発表する学習時間を設ける。担当教員と学生, 学生と学生が意見を交換し合い, 多様な社会のあり方と公正とは何かを考察させる。						
履修要件							
	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
学習内容	1 政治とは何か	(2)	政治と国家, 民主主義思想を説明できる。	A1:4			
	2 人権とは何か	(2)	基本的人権は何かを説明できる。	A1:4			
	3 日本国憲法について	(2)	日本国憲法の基本原理を説明できる。	A1:4			
	4 平和と安全を考える	(2)	憲法9条に関して説明できる。	A1:3			
	5 平等と自由を考える	(2)	法の下での平等と自由権を説明できる。	A3:4			
	6 国会・内閣・裁判所について	(2)	日本の政治の仕組みを理解できる。	A1:4			
	7 政党と選挙制度について	(2)	政党政治の仕組みを説明できる。	A1:3			
	8 前期中間試験	(1)					
	9 経済とは何か	(2)	経済の仕組みと変容を理解できる。	A1:3			
	10 経済主体と経済活動について	(2)	3つの経済主体と企業の役割を説明できる。	A3:1			
	11 市場経済と景気変動について	(2)	市場メカニズムと競争のあり方を説明できる。	A3:1			
	12 財政の仕組みを考える	(2)	財政の役割について説明できる。	A3:1			
	13 金融とは何か	(2)	景気状況と公定歩合の関連を説明できる。	A3:1			
	14 日本の経済について	(2)	日本経済の発展を理解できる。	A3:1			
	15 国際経済の諸課題とは	(2)	国際収支, 資本移動を理解できる。	A3:4			
	16 前期期末試験	(1)					
	17 試験問題の解答と授業評価アンケート	(1)					
	18 少子高齢社会と社会保障について	(2)	高齢化問題を説明できる。	A3:2			
	19 住民生活と地方自治を考える	(2)	住民生活の向上を考察できる。	A1:4			
	20 産業構造の変化と中小企業について	(2)	産業構造の変化を説明できる。	A1:1			
	21 農業と食糧問題を考える	(2)	低い食料自給率の問題点を説明できる。	A3:1			
	22 消費者問題と消費者保護とは	(2)	消費者のあり方を考察できる。	A3:1			
	23 労使関係と労働市場	(2)	今日の労働問題を指摘できる。	A3:2			
	24 後期中間試験	(1)					
	25 地球環境問題を考える	(2)	環境保全の考え方を身につける。	A1:2			
	26 資源・エネルギー問題とは	(2)	原子力に関しての問題点を示せる。	A1:1			
	27 核兵器の廃絶と軍縮について	(2)	核兵器の問題点を指摘できる。	A3:3			
	28 人種・民族問題を考える	(2)	人間の尊厳を考察できる。	A1:4			
	29 南北問題と国際協力について	(2)	発展途上国の自立への関心を持つ。	A1:4			
	30 経済摩擦と外交について	(2)	貿易のあり方を説明できる。	A1:3			
	31 国際社会における日本の役割を考える	(2)	人類全体の利益を考察できる。	A3:4			
	32 学年末試験	(1)					
	33 試験問題の解答と政治・経済面を振り返	(1)					
	34						
	35						
評価方法	定期試験, 作業活動, 課題レポートの提出等で総合評価する。						
関連科目	法学, 倫理・社会, 歴史, 地理, 哲学						
教材	教科書: 坂上順夫 他 著「高等学校 改訂版 新政治・経済」						
備考	特になし						